

## メキシコ政治情勢（4月）

### 〔概要〕

#### 【内政】

- 4日、中間選挙（6月6日に実施される諸選挙）に向けたキャンペーンが開始。
- 5日、エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率等に関する世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は61%で、前月比2%低下。
- 6日、エル・フィナンシエロ紙が州知事選挙に向けた世論調査結果を発表。
- 8日、エル・フィナンシエロ紙が政党別支持率等に関する世論調査結果を発表。
- 14日、連邦議会が携帯電話事業者に利用者の生体情報登録簿提出等を義務付ける電気通信法の改正を承認。
- 16日、レフォルマ紙が大統領支持率等に関する世論調査結果を発表。大統領支持率は63%。
- 20日、連邦議会が人材下請け契約（アウトソーシング）を原則禁止する労働法の改正を承認。
- 22日、連邦議会がエネルギー資源に対する国有企業の権限を強化する炭化水素法の改正を承認。
- 27日、連邦選挙裁判所がゲレロ、ミチョアカン両州の国家再生運動（MORENA）州知事候補の登録取消を判断。

#### 【外交】

- 6日、連邦衛生リスク管理委員会（COFEPRIS）がインド製ワクチン・コバクシン（Covaxin）の緊急使用を許可。
- 7日、「ロ」大統領とハリス米国副大統領が電話会談。
- 15日、ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）の抗新型コロナウイルス・ワクチン会合が開催。
- 15日、エブラル外相がイベロアメリカ外相会合に出席。
- 19日、「エ」外相が国連安保理会合に出席。ワクチンの寡占に反対する演説を行った。
- 20日、墨連邦上院と中国全国人民代表大会のオンライン会合が開催。
- 21日、「エ」外相がイベロアメリカ首脳会合に出席。
- 21日、連邦上院で5Gに関するセミナーが開催。
- 22日、「ロ」大統領が米国主催の気候変動サミットに出席し、演説。
- 22日、墨外務省が米国政府によるメキシコへの渡航延期勧告に懸念を表明。
- 22日、COFEPRISが中国の国家医療品事務局と医療品等の調達に係る協定を締結。
- 23日、韓国外交部の第一次官が来墨。墨外務次官と会談。
- 25～29日、「エ」外相がロシアを訪問。
- 27日、「ロ」大統領がディアスカネル・キューバ大統領と電話会談。
- 29～30日、「エ」外相がスペインを訪問。

#### 【内政】

1 6月6日の諸選挙に向けたキャンペーンが開始

4日、本年6月6日に実施される諸選挙のキャンペーンが開始された。連邦議会下院議員500議席、15州知事、1,923の自治体首長、30州議会議員計1,063議席の総計3,501ポストが選ばれる墨史上最大規模の選挙とされる。

## 2 大統領支持率等に関する世論調査結果

5日付エル・フィナンシエロ紙は、大統領支持率、新型コロナウイルス感染症対策他に関する世論調査結果を発表した。(3月12～13日及び26～27日に有権者計1,000名を対象に電話調査形式で実施。誤差±3.1%。※を付した質問は、26～27日に実施。今次調査において、「ロ」大統領の支持率は前月に比して2%減少。)

### (1) ロペス・オブラドール大統領に対する評価

#### ア 大統領の政治運営に対する総合評価

- ・支持する：61% (前回(2月、以下同じ)63%)
- ・支持しない：36% (前回35%)

(ワクチン接種済の者は、大統領支持67%、不支持32%、未接種の者は、大統領支持59%、不支持37%)

#### イ 大統領の資質で評価できるもの(複数回答)

- ・誠実さ：51% (前回52%)
- ・指導力：45% (前回46%)
- ・結果を出す能力：37% (前回45%)

### (2) 抗新型コロナウイルス・ワクチン

#### ア 貴方又は同居家族は、ワクチンの接種を受けたか。

- ・自分が受けた：5%
- ・同居家族が受けた：16%
- ・自分、同居家族のいずれも受けた：3%
- ・まだ受けていない：76%

#### イ ロペス・オブラドール政権のワクチン接種への取組を如何に評価するか。

- ・とても良い、又は良い：43% (前回48%)
- ・とても悪い、又は悪い：26% (前回28%)
- ・良くも悪くもない：30% (前回23%)

### (3) 政治のあり方

#### ア 国にとっては次のいずれが好ましいか。(※)

- ・大統領に一層の権力が集中すること：31%
- ・大統領に対抗できる政治的勢力が強くなること：50%

#### イ 憲法と政治の関係につきどう考えるか。(※)

- ・政府の計画が憲法に準拠すること：54%
- ・憲法が政府の計画に沿って修正されること：30%

#### ウ 今後3年間の政治においては、いずれが好ましいか。

- ・与党が議会で多数を占め、大統領を支援すること：41%
- ・野党が議会で多数を占め、大統領に対抗すること：45%

### (4) ロペス・オブラドール政権の取組(次の分野に係る政権の取組を評価するか)

#### ア 保健

- ・とても良い、又は良い：31% (前回42%)
- ・とても悪い、又は悪い：38% (前回38%)

#### イ 経済

- ・とても良い、又は良い：28%（前回30%）
- ・とても悪い、又は悪い：44%（前回49%）

#### ウ 汚職対策

- ・とても良い、又は良い：33%（前回36%）
- ・とても悪い、又は悪い：46%（前回41%）

#### エ 治安対策

- ・とても良い、又は良い：20%（前回27%）
- ・とても悪い、又は悪い：61%（前回56%）

### 3 15州知事選挙に関する世論調査結果

6日付エル・フィナンシエロ紙は、6月6日に行われる15の州知事選挙に向けた世論調査結果を発表。同紙は、右結果に基づき、与党国家再生運動（MORENA）が8州（トラスカラ州、バハカリフォルニア州、カンペチェ州、コリマ州、ゲレロ州、サカテカス州、ナヤリット州、ミチョアカン州）で、国民行動党（PAN）が2州で優勢、5州は拮抗状態と説明している。

### 4 政党別支持率等に関する世論調査結果

8日付エル・フィナンシエロ紙は、中間選挙に向けた政党別支持動向等に係る世論調査結果を発表。主要政党別支持率は、MORENA 40%、PAN 11%、制度的革命党（PRI）10%、民主革命党（PRD）3%であった。

### 5 電気通信法の改正が議会で承認

14日、連邦議会は、携帯電話会社に利用者の生体情報登録簿の提出等を義務付ける電気通信法の改正を承認し、16日に官報に掲載され、17日に施行された。右改正法により、携帯電話会社は利用者の生体情報（指紋、顔認証等）登録簿を政府に提出する義務を負う（提出がない場合は、行政罰の対象となる）。野党は、利用者の個人情報が悪用されるおそれを指摘し、当該法の差止め、違憲無効判断を追求する方針を示している。

### 6 大統領支持率等に関する世論調査結果

16日付レフォルマ紙は、大統領支持率、政権運営の評価、政党支持率等に係る世論調査結果を発表。（4月8～13日に、有権者1,200名を対象に訪問・対面形式で実施。誤差±4.2%。）

#### (1) 大統領・政権

##### ア 大統領を支持するか。

- ・支持：63%（前回同紙調査時（昨年12月）61%）
- ・不支持：33%（前回（同上）37%）

##### イ 次の分野における大統領の取組を評価するか。

- ・社会プログラム：評価する49%、評価しない29%
- ・教育：評価する46%、評価しない32%
- ・保健：評価する45%、評価しない34%
- ・貧困対策：評価する42%、評価しない37%
- ・新型コロナウイルスのパンデミック対策：評価する41%、評価しない37%

- ・フェミニズム運動：評価する37%、評価しない26%
- ・汚職対策：評価する36%、評価しない41%
- ・治安：評価する35%、評価しない44%
- ・経済：評価する32%、評価しない46%
- ・組織犯罪対策：評価する27%、評価しない49%

ウ 貴方又は家族は、ロペス・オブラドール政権による支援を受けたか。

- ・自分が受けた：11%（前回同紙調査時（昨年3月。以下同じ）61%）
- ・家族が受けた：29%（前回21%）
- ・両方が受けた：3%（前回2%）
- ・受けていない：57%（前回66%）

エ 連邦下院でMORENAが多数を維持すれば、大統領の行動は、

- ・これまでの方針を継続する：48%
- ・より急進的な法制を推進する：39%

## (2) 政党、中間選挙

ア 本日選挙があるならば、いずれの党に投票するか。

- ・MORENA：45%
- ・PRI：18%
- ・PAN：17%
- ・PRD：4%
- ・緑の党（PVEM）：4%
- ・独立系：4%
- ・市民運動（MC）：3%
- ・労働党（PT）：3%
- ・支持政党なし：24%

イ 連邦下院は、MORENAがコントロールし続けるべきか。

- ・MORENAがコントロールし続けるべき：49%
- ・野党がコントロールすべき：38%

ウ 投票に際しての考慮材料を一つだけ選ぶならば、いずれか。

- ・経済：45%（前回同紙調査時（昨年12月。以下同じ）38%）
- ・治安：33%（前回34%）
- ・パンデミック対策：19%（前回25%）

エ 次のいずれの考え方を支持するか。

- ・PRI、PAN政権時代に戻るよりは現状の方が良い：56%
- ・「ロ」大統領就任前の方が良かった：31%

オ 中間選挙（6月6日）の投票に行くか。

- ・投票に行く：74%
- ・パンデミックのため外出を控える：21%

## (3) 経済

ア 最近1年間で、経済はどう変化したと考えるか。

- ・良くなった：25%（前回同紙調査時（昨年3月。以下同じ）33%）

- ・悪くなった：47%（前回31%）
- ・変わらない：27%（前回33%）

イ 経済悪化の責任は誰にあるか。

- ・新型コロナウイルスのパンデミック：56%
- ・ロペス・オブラドール大統領：29%
- ・自身が居住する州の知事：10%

ウ 最近1年間で、貴方及び家族の経済状況はどう変化したか。

- ・良くなった：20%（前回同紙調査時（昨年3月。以下同じ）30%）
- ・悪くなった：39%（前回28%）
- ・変わらない：40%（前回40%）

#### (4) 新型コロナウイルス感染症

ア 「ロ」大統領の感染症対策を評価するか。

- ・評価する：58%（前回同紙調査時（昨年12月。以下同じ）56%）
- ・評価しない：39%（前回42%）

イ 墨政府は感染症をコントロールできていると考えるか。

- ・できている：42%（前回同紙調査時（昨年12月。以下同じ）32%）
- ・できていない：52%（前回61%）

ウ 既にワクチン接種を受けたか。

- ・受けた：15%
- ・受けていない：85%

エ メキシコにおけるワクチン接種につき、どう思うか。

- ・適切に行われている：72%
- ・不適切である：20%
- ・誠実に行われている：65%
- ・汚職がある：22%
- ・迅速である：46%
- ・遅延している：45%

#### 7 連邦労働法の改正が議会で承認

20日、連邦議会は、個人及び派遣会社または仲介業者による下請け契約（アウトソーシング）を原則的に禁止する連邦労働法の改正を承認。23日に官報に掲載され、翌24日に施行された。右により、企業は自社が正規雇用する労働者を他社の事業所に派遣して労働させることは原則禁止され、派遣先企業の主要な経済活動ではない専門サービス、工事に限り派遣が認められる（ただし、労働・社会保障省の許認可が必要）。

#### 8 炭化水素法の改正が議会で承認

22日、連邦議会は、エネルギー安全保障・主権を保護すべく国有企業を強化することを主な目的とする改正炭化水素法を承認した。

（注：同法の改正は、5月4日付官報に掲載され交付されたが、炭化水素関連製品の輸入、流通、販売業者を中心に国内外事業者の反発は強く、アンパロ（憲法権利訴訟）提訴が行われている。）

## 9 ゲレロ州及びミチョアカン州MORENA所属知事候補の登録取り消し

27日、連邦選挙裁判所は、サルガド・ゲレロ州知事候補及びモロン・ミチョアカン州知事候補（いずれもMORENA所属）の登録を取り消す判断を下した。国家選挙機構（INE）は、両候補の選挙事前キャンペーンにおける収支報告が不適切であったとして、候補者登録に疑義を呈していた。連邦選挙裁判所は右を承認し、両候補の候補者登録を取り消した。28日及び30日、MORENAは、新たにミチョアカン州知事候補にラミレス氏（現同州議会議員、MORENA所属）、ゲレロ州知事候補にエベリン・サルガド女史（サルガド前候補の娘）の擁立を決定。

## 【外交】

### 1 メキシコにおけるインド製ワクチン「コバクシン」(Covaxin) の緊急使用を許可

6日、墨連邦衛生リスク管理委員会（COFEPRIS）がインド製ワクチン「コバクシン」の緊急使用を許可。メキシコで使用が許可されたワクチンは、計6種類（ファイザー（米）、アストラゼネカ（英）、カンシノ（中）、シノバック（中）、スプートニクV（露）、コバクシン（印））となった。

### 2 ロペス・オブラドール大統領とハリス米国副大統領が電話会談

7日、「ロ」大統領と「ハ」米国副大統領が電話会談を行った。正規で、秩序立った安全な移住を推進するための墨米両国間の協力メカニズムについて議論され、両者は、特に未成年移民の人権を保護する必要性及び人身売買対策におけるインテリジェンスの活用につき一致した。また、「ロ」大統領から「ハ」副大統領へ、「生命の種まき」プログラム（注：「ロ」政権が墨国内及び中米北部で進める植林及び経済社会的弱者支援プログラム）に関し説明した。

### 3 ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）の抗新型コロナウイルス・ワクチンに関する会合

15日、議長国であるメキシコの主催により、「CELACにおける抗新型コロナウイルス・ワクチンの技術的開発」に関する会合がオンライン開催され、アルゼンチン、ブラジル、チリ、キューバ及びメキシコから、当地域で最先端のワクチンを開発する8つの研究所が参加した。「エ」外相は、同会合で、メキシコは今後の国内におけるワクチン接種に際し、ラ米カリブ地域で開発されたワクチンの使用を優先する旨述べた。

### 4 イベロアメリカ外相会合が開催

15日、イベロアメリカ外相会合が開催され、「エ」外相が参加した。同外相は、墨政府が、抗新型コロナウイルス・ワクチンへのアクセスを国民に保証する取組を進めるとともに、同ワクチンへの普遍的で時宜を得た公平なアクセスのための政策を推進している点を強調。また、メキシコは、団結、連帯、政治的合意及び多国間協力に基づいて、新型コロナウイルスへの世界的な対応を進めるべく、引き続き取り組む旨述べた。

### 5 国連安保理会合におけるエブラル外相のワクチンに係る呼びかけ

19日、「エ」外相は、紛争の予防及び解決に係る国連と地域機構との協力に関する国連安保理のハイレベル討論に出席し、衛生上の危機に対応するための手段として、国際協力を呼びかけた。ワクチンが世界的な公共財として認識され、紛争中の国を含む全ての国で例外なく適用されることを求める国連決議に言及し、CELACが、地域に悪影響を及ぼす状況（不平等を助長するワクチンの寡占等）に反対する国々が自らの考えを表明する場である点を強調した。また、メキシコは同日、CELAC議長国として、「抗新型コロナウイルス・ワクチン製造の民主化に関する特別声明」を発出し、同ワクチンを世界の公共財とし、右を世界規模で推進す

ることを呼びかけた。

## 6 墨連邦上院と中国全国人民代表大会のオンライン会合

20日、墨連邦議会上院（ラミレス議長他）と中国全国人民代表大会（栗戦書・常務委員長他）との間でオンライン会合が行われた。同会合では、メキシコと中国の戦略的同盟を堅固にし、二国間協力を拡大するため、墨中関係を強化することの重要性が強調され、そのために両国間の議会交流（双方の特別委員会や友好議連間の交流強化、多国間アジェンダの発展に資する法的文書の批准、改正等）を拡大することで双方が一致した。また、パンデミック下における中国の対墨支援及び抗新型コロナウイルス・ワクチンの輸送に謝意が表された。

## 7 エブラル外相がイベロアメリカ・サミットに出席

21日、「エ」外相は、「ロ」大統領の代理として、第27回イベロアメリカ・サミットに出席。抗新型コロナウイルス・ワクチンへの普遍的、適時かつ公平なアクセスを実現するために各国が直面している課題を強調し、「ラ米地域における接種は、世界における接種の僅か8.6%であり、しかも、主に4カ国のみで行われている」と指摘した。また、同外相は、メキシコはワクチンの寡占を防ぐための闘いを続け、低所得国への分配を優先させるためにCOVAXファシリティーにおけるワクチン調達を加速させると述べた上で、ラ米カリブ地域におけるパンデミックの課題に迅速かつ効果的に対応する可能性を強化すべく同地域で進められているワクチン開発プロジェクトに言及。サミット参加国へ投資を呼びかけた。

## 8 連邦上院における5Gセミナーが開催

21日、連邦上院アジア太平洋アフリカ委員会の主催による5Gセミナーがオンライン開催され、日中韓の大使や企業、墨国内の本件専門家等が出席。各国・企業における5Gの考え方・経験の共有、メキシコにおける5G導入等に関する説明・意見交換等が行われた。

## 9 ロペス・オブラドール大統領が気候変動サミットに出席

22日、「ロ」大統領は、定例早朝記者会見から生中継する形で米国主催の気候変動サミットに出席し、化石燃料の過剰使用の回避、水力発電所の近代化、及び「生命の種まき」プログラムの森林再生活動としての重要性を強調した。また、バイデン米国大統領に対し、同プログラムを墨南部及び中米に拡大することを提案し、資金的な協力やプログラム参加者に対する査証発給他の便宜提供を検討するよう促した。

## 10 墨外務省、米国政府によるメキシコへの渡航延期勧告に対する懸念を表明

22日、墨外務省はプレスリリースを発売し、米国政府による新型コロナウイルス感染危険レベル4の渡航延期勧告対象国中にメキシコが含まれていることに懸念を表した。同プレスリリースでは、墨米両国間の観光及び日々の出勤等による越境者数、貿易及びサプライチェーン等による連携性が強調され、メキシコ経済に及び得る影響が指摘されている。

## 11 墨中間で医療機材等調達のための協定を締結

22日、墨連邦衛生リスク管理委員会（COFEPRIS）と中国の国家医療品事務局は、医療機材等の調達に係る協定を締結した。同協定により、墨中間の保健衛生規制当局間のやり取りが直接的かつ迅速となり、両国における抗新型コロナウイルス・ワクチン及び医療機材等の承認、購入プロセス等が迅速化するとされる。協定への署名式はオンライン形式で実施され、両国の関係機関代表者に加え、デルガド墨外務省多国間・人権

問題担当次官及び祝・駐墨中国大使が出席した。右は、医療品調達時の汚職を撲滅する趣旨で、「ロ」政権が政権発足時より各国と締結している諸協定の一つ。

## 1 2 墨韓外務次官会談

23日、韓国外交部の崔鍾建第一次官が訪墨し、モレノ筆頭外務次官と会談を行った。両次官は、パンデミック対策における連携を強調し、ワクチンへの公平かつ適時のアクセス確保に向け引き続き協働する点で一致した。また、同会談では、(墨韓の)二国間及び多国間における種々の一致も強調された。両次官は、MIKTAへの両国の参加及びメキシコの国連安保理への非常任理事国としての参加に留意しつつ、地域情勢、地球規模課題等に係る意見交換を行った。

## 1 3 エブラル外相がロシアを訪問

25～29日、「エ」外相はロシアを訪問。28日にはラブロフ露外相と会談を行い、会談終了後の記者会見で新型コロナウイルスによるパンデミック等、主要な地球規模課題に対応する双方の意思が強調された。「エ」外相は、スプートニクVワクチンへの適時のアクセスのためのロシアからの支援に謝意を表し、5～6月にメキシコで同ワクチンを完成形にするプロセスを開始できるよう、既に取り組が行われている旨発表した。また、スプートニクVワクチン開発に重要な役割を果たした露直接投資基金(RDIF)と墨COFEPRIIS等の墨規制当局との間で、ロシア製の新ワクチン「スプートニク・ライト」の登録を開始するために必要な協議が行われる旨述べた。

## 1 4 ロペス・オブラドール大統領がキューバ大統領と電話会談

27日、「ロ」大統領はキューバのディアスカネル大統領と電話会談を行った。「ロ」大統領は、会談後、自身のツイッターで、パンデミックに対処するためのキューバからの支援(医師及び看護師の派遣)につき謝意を表し、メキシコとキューバは、歴史と連帯により結びついた兄弟国であると発信した。

## 1 5 エブラル外相がスペインを訪問

29～30日、「エ」外相がスペインを訪問。30日にゴンサレス西外相、アバロス交通・運輸大臣、ドゥケ科学・イノベーション大臣と会談を行った。墨西外相会談では、両国間の政策協議の再開、新型コロナウイルス感染症対策を巡る協力、墨政府による本年の歴史記念事業(独立達成200周年他)へのスペインの参加、地球規模課題や地域外交における連携等がとり上げられた。

(了)